

地域とのつながりを重視した学習指導

— 地域に目を向けさせる活動を中心にして —

足利市立毛野小学校大久保分校

1. 研究主題設定の理由

小学校学習指導要領（昭和52年）や小学校指導書教育課程一般編（昭和53年）で、学校と地域との関わりの深さや地域の持つ教育力の重視について述べられている。

また、毛野小学校の学校教育目標の具現のための方針の一つとして、「地域や家庭の教育活動と学校教育活動を、相互補完の関係においてとらえ、生涯教育を指向した地域に根ざす教育の推進に努める。」を挙げている。

そこで、大久保分校では、地域のために尽くす人間の育成という展望のもとに、研究主題「地域とのつながりを重視した学習指導」を設定した。地域に学習の対象を求めると、児童が日頃見慣れたり経験していることや場所が出てくるので、興味・関心が高まり、主体的に学習に取り組むことができる。また、直接見たり聞いたりして肌で感じることができ、理解が確かなものになるなどの効果も十分考えられる。しかし、児童を見ると、一日中地域で生活しているながら、地域の事物・事象を、低学年（1～3年生）であるためか、見過ごしていることが多いのが実態である。そこで、まず地域を知らせて、少しでも、身近なものに関心を持たせるために、サブテーマ「地域に目を向けさせる活動を中心にして」を設定した。

2 研究の視点

地域のために尽くす人間の育成という展望のもとに地域を見る時、次の5つの視点を考えた。

(1) 地域の理解

地域にあるあらゆるものを知る活動で、身近にあっても見過ごされていたり、知られずにいたものなどを文献によって調べたり実際に見に行ったり、話を聞いたり、手で触ったりして確かめることを通して理解しようとするものである。

(2) 地域素材の教材化

目標・内容を明確にし、素材を集め、選択し、指導計画を作成する。教科は、毛野小本校の研究教科から、社会科・理科・体育科を取り上げた。

社会科 社会生活・社会的事象を成り立たせている地域の人々の働きに焦点を当てる。そのためできるだけ身近な人々の働きや事物を具体的に観察させ効果的に表現させる。

理 科 地域の自然の事物・現象について、見たり、探したり、作ったり、育てたりする具体的な活動を通して学習させる。

体育科 基本の運動・ゲーム・表現運動のいずれにとっても、楽しく夢中になりきれ
るような遊びになることを目指して、地域の素材を取り入れ、より意欲的に
取り組ませる。

(3) 地域の人々との交流

地域の人たちとの触れ合いを通して、地域の人たちの喜びや苦勞に共感させようとするも
のである。共に作業をしたり、話を聞いたりする機会を設け、地域の人たちと積極的に関わ
ろうとするものである。

(4) 地域への貢献・奉仕

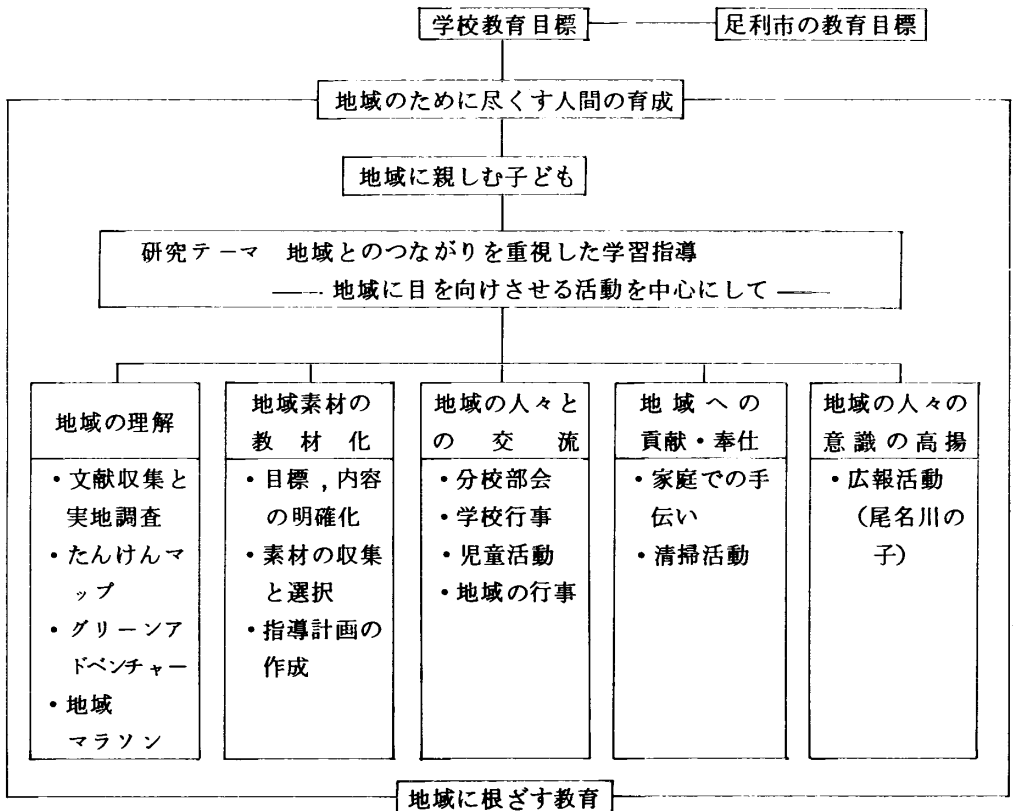
地域に体験の場を求めようとするものである。家庭の一員としての役割を果たしたり、地
域での奉仕的な勤勞体験をしたりして、地域に貢献しようとするものである。

(5) 地域の人々の意識の高揚

児童を取りまく地域の人々の、地域を大切にしようという気持ちも育てようとするもので
ある。地域の自然や文化に親しみ、誇りを持ちながら、その保護・発展に努めることが、児
童への大きな教育力となるからである。

3. 研究構想図

将来にわたっての構想は、以下の示す通りである。



(1) 地域の理解

① 文献収集と実地調査

② たんけんマップの作成と活用

ア 児童による情報収集

イ お昼の放送による情報紹介と作文集掲示

ウ 地域めぐり

③ グリーンアドベンチャーの試み

④ 地域マラソンコースの設置

(2) 地域素材の教材化

1年生から3年生までの3教科(社会科・理科・体育科)で取り上げられる地域の素材を挙げてみる。

社会科 (大単元別)

わたしと学校 (1年)

……学校と職員

わたしと近所 (1年)

わたしたちの足利市 (3年)

} ……学校のまわりの地形

土地のようすにあわせた人びとのしごと (3年)

ものをそだてる人たち (2年)

こうばではたらく人たち (2年)

} …… { 小松原製作所(プラスチック)
中央化学(ビニール)
平塚さん(だいこん・にんじ)
広田さん他 んづくり)
出荷場(だいこん・にんじんの集配)

みせではたらく人たち (2年)

わたしたちの商店がい (3年)

} ……原田商店・魚松

ゆうびんをはこぶ人たち (2年) ……大久保2丁目, 川崎上町のポスト

足利市のうつりかわり (3年) ……

{ 天満宮(絵馬・奉納歌)
竜雲寺(勝軍地藏) 薬師寺(薬師如来)
神送り(7月土用の前日) 麦念仏
天満宮例祭 石尊祭(7月土用の日)
日光鹿島神社例祭(年4回)

理科 (単元別)

のはらのくさ, おちばあつめ (1年)

くさの花をそだてよう, 大きくなった, たねとり

尾名川周辺

秋のたねまき, 冬のくさや木 (2年)

渡良瀬川周辺

めばえのころ, はのしげるころ, はの色づくころ (3年)

校庭

冬の生きもの

ざりがにやおたまじゃくし（2年） } 日光鹿島神社付近の池（めだかも含む）
 冬の生きもの（3年） } 大久保2丁目通学路そばの小川
 学校北すぐの通学路そばの小川（たにし）

虫をさがそう（2年） }
 はの色づくころ（3年） } 渡良瀬川河川敷，川崎町の空地
 めばえのころ（3年） }

山つくり川つくり（2年） 各児童の家の近くの土
 音あそび（2年） 大久保町の竹屋さんからの竹
 石あつめ，じしゃくであそぶ（1年） 渡良瀬川の河原

体育科（運動領域別）

基本の運動……地域マラソン，尾名川とび，土手の芝すべり

むかし話あそび（地域に伝わる話に出てくる人物や動物をまねていろいろな運動をする。例・天狗の早足，蛙合戦）

ゲーム ……むかし話をとり入れた鬼あそびやリレー

表現（3年）……むかし話や，地域の自然，地域で働く人たちの様子などをとり入れた動きづくり

(3) 地域の人々との交流

- ① 分校部会を通しての交流
- ② 学校行事を通しての交流
- ③ 児童活動を通しての交流
- ④ 地域の行事を通しての交流

(4) 地域への貢献・奉仕

- ① 家庭での手伝いのすすめ

(5) 地域の人々の意識の高揚

- ① 尾名川の子（分校だより）による広報活動

5. 実践の記録

(1) 地域の理解

① 文献収集と実地調査

5月 文献の調査

- ・足利の伝説（正，続，続々） 台 一雄著 蛙合戦 勝軍地藏 天満宮
天狗の早足
- ・足利市文化財総合調査 年報Ⅰ～Ⅴ 足利市文化財総合調査団，足利市教委
- ・足利の歴史 ひらけゆく郷土 足利教育会
- ・足利の自然 足利教育会
- ・毛野村郷土誌

6月 竜雲寺訪問

勝軍地藏

勝軍地藏は、約40cmほどの大きさで、意外に小さくて驚いた。しかし色彩があざやかであったのが印象的。

天然記念物「カヤ」

薬師寺訪問

とてもモダンな造りのお寺である。ここの薬師堂には、立派な薬師如来坐像が安置されていた。

7月 浅間神社 鏡石 三足富士 縄文遺跡の探索

残念ながら、ここしばらくは誰も登っていないとのことで、登る道は、草が生い茂っていて登ることはできなかった。

9月 川田光威氏宅訪問（大久保町在住）

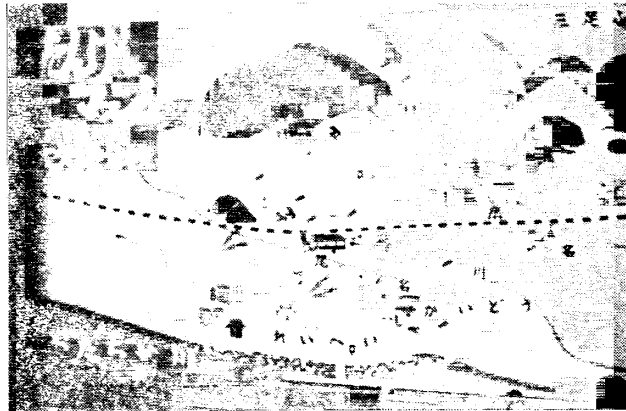
毛野地区に関する資料を拝見させていただきながら地域に伝わる話を伺う。
(テープに収録)

10月 川崎天満宮のまつりに参加

自治会長さんから、天満宮に収められている絵馬の話や、昔からある天満宮の絵などを見せてもらった。地域のことに関心の高い人もいることがわかった。
今年、県立博物館の「絵馬展」に展示された絵馬もあった。

② たんけんマップの作成と活用

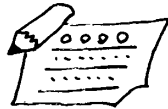
教師が調べたことや児童が家の人などから聞いてきたことを地図にし、廊下に掲示することによって、いつでも目に触れるようにした。児童は、場所を確かめたりしながら、地域にあるものについて知ることができる。



ア. 地図



足利の伝説からの話



児童が家の人などから聞いてきた話



主なたてもの



教材になるもの

イ. 児童の作文

児童の調べたり、聞いたりしてきた作文を、5つに分けてとじこんで、いつでも読めるようにして、たんけんマップの前に置いている。

① 大久保のはなし

- ② 川崎のはなし
- ③ むかしのはなし（その他のことも含む）
- ④ 家の人から（分校だより「尾名川の子」を読んだ感想など）
- ⑤ グリーンアドベンチャー（学校外で見つけた木の話など）

また、調べてきてくれた児童には、お昼の放送の時間（月・水・木・金）にみんなに話してもらい、意欲づけにしている。



ウ．地域めぐり

実際に地域に出て、自分の目で確かめることは、とても大切なことである。学級会やゆとりの時間を使って、たんけんマップに記されたことを見て歩く。授業でも、社会科では、学校のまわりの様子などで、理科も、虫や花を学習するために地域をまわる。体育でも、1時間中持久走というわけではないが、マップに出ている場所を順々に訪ねながら走ることも、時に設けている。

③ グリーンアドベンチャーの試み

グリーンアドベンチャーとは、緑への冒険というようなことで、校庭の樹木に名前をつけて、ただ単に覚えさせるのではなく、葉の形や香り、幹、花の特徴などに気づかせるなどの観察の目を育てながら、自然に触れさせようとするものである。校庭から自分の家の回りへ、そして地域へと目を広げさせて地域の自然に親しませたい。

ア．掲示板と放送を利用

樹木の絵と番号を掲示しておき、ふだんから関心を持たせておく。ある一定期間おいたところで、放送などを通して児童にクイズ形式で呼びかけ、楽しんで覚えさせる。

イ．教科学習へのとりいれ

理科の植物分野の学習、図工の絵画、体育での準備運動などに積極的にとり入れる。

ウ．作文

学校の外で見つけた樹木のことを作文に書いたり、放送を通して作文を発表させたりすることで意欲づけ、さらに他の児童も見つけようとする気持ちも育てる。

グリーンアドベンチャー
 このまえひろえち、んと初められて、たかま
 とくんのうちあち、ととおりすぎたところ
 で、だんてんを見つけた。
 は、ばの形もそ、くりてみもそ、くりてした。
 わたしは、うちにかえ、てそのことを話ま
 した。そして、まただんてんを見にいきました。
 た、や、ばり、学校のだんてんを、くりて
 した。
 そして、うちにかえ、てあそんでいると、学校の
 のギンモクローイのようには、ばを見つけた。
 た。木の下を見たら、みかん色の小さい花がた
 くさんおちていました。と、とくらいたって、に
 おいがかいたら、とてもいいにおいだ。たのそ
 わか、あそんに木がまをきいたら、ギンモク
 ロイといいました。わたしは、のうちのその木
 がたたくさんあるところで見つけました。
 わたしは、も、といっている見、は、ア、ら、べ
 たいと思、います。

・ グリーンアドベンチャー〈テスト結果〉

グリーンアドベンチャーの試みを始めて数ヶ月、子どもの目はずい分木に向けられたようで、知っている木も増えた。さらにグリーンアドベンチャーを始めてから、自分の回りの木をよく見るようになったり、学校の木と家の木をくらべるようになったという子も多い。地域の自然に目を向ける第一歩は踏み出したようだ。

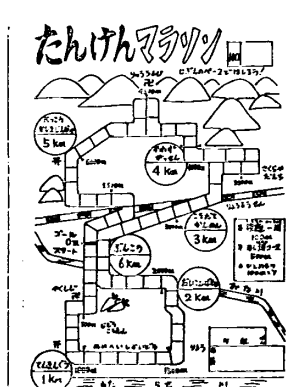
④ 地域マラソンコース

(たんけんマラソン) の設置

児童が調べてきたことが、たんけんマップの上にとんとん広がっている。そのたんけんマップを走ってみようというねらいで「たんけんマラソン」を計画した。体を動かすことによって、地域に触れさせるのである。走った距離は個人カードに記録させて、どこまで伸びるかなど、楽しんで取り組ませたい。

・ なし畑コース (約 500 m)

月・水・金の10:30~10:45 は全員で業間運動として走り、体育の時間も走っている。



•かわさきコース(約800m)

3年生は、体育の授業などを使って、利用している。

(2) 地域素材の教材化

3教科で取り上げた地域の素材を授業で実践した例。

1年生 社会科 がっこうのいきかえり

通学路を取り扱うことにより、地域に目を向けさせる。

2年生 理科 山づくり川づくり

児童の身の回りがある地域の土を使うことにより、地域に目を向けさせる。

3年生 体育科

力試しの運動に、むかし話をとり入れて、地域に親しませる。

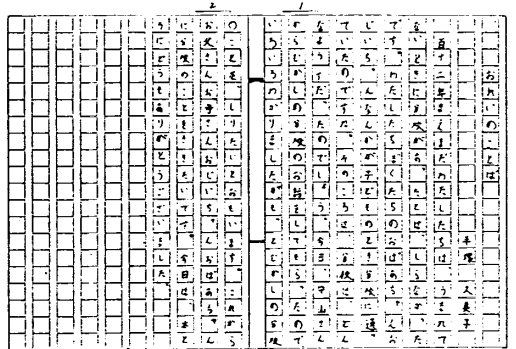
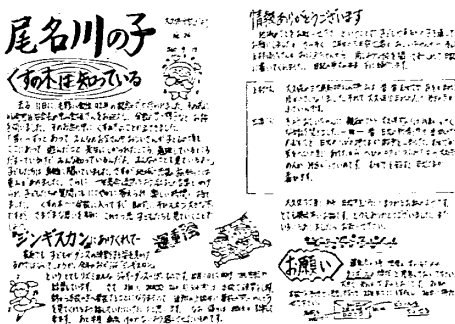
(3) 地域の人々との交流

① 分校部会を通しての交流

- 夏休みに行われる花火・すいかわり大会。子どもと親と教師が共に楽しみ、夏の夜を過ごす。
- 朝8時から9時までの親子共同作業。校舎内外の清掃、親に指導を受けながら、共に汗を流す楽しさを味わっている。

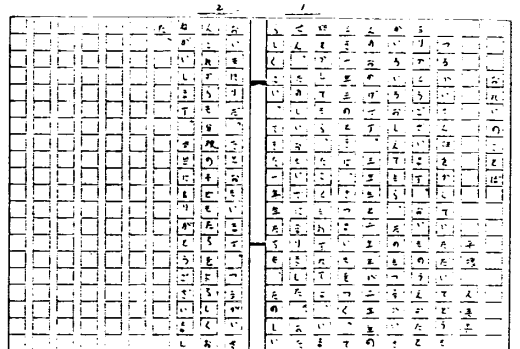
② 学校行事を通しての交流

創立記念日に地域の方を迎え話を伺う。分校だよりでその内容を父兄に紹介する。



③ 児童活動を通しての交流

分校のうらの畑を貸して下さるばかりか、苗を植える方法、世話の仕方、収穫など、すべての面で指導して下さいました鶴谷さんを、収穫を祝う児童集会に招待し、お礼をする。



④ 地域の行事を通しての交流

川崎町の天満宮秋まつりに参加した。天満宮の中を案内され絵馬のことなど説明を受ける。そして地域の人々と昔の分校のこと、地域のことなどについて話し合う。ふだん話す機会のない人たちとの貴重な時間を過ごすことができた。

(4) 地域への貢献・奉仕

児童への課題として、家庭でのお手伝いをさせ、徐々に自然と手伝えるようにすすめる。

(5) 地域の人々の意識の高揚

尾名川の子を通して、地域にあるものなどを知らせたり、情報の提供を呼びかける。運動会では、地域の特産である人参、大根をとり入れた団体種目を行いアピールした。分校児童の種目として綱引きを実施した。

尾名川の子

久保分設(別)
No.27
200.10.3

情報お送りください

尾名川の子の発行にあたっては、お送りください。お送りください。お送りください。



尾名川の子

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。

秋の収穫祭 10月28日

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。

尾名川の子

久保分設(別)
No.27
200.10.11

行ってみよう

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。

道沿路一部変更のお知らせ

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。



こんでずか No.2 久保河 竜堂子

尾名川の子

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。

気

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。



こんでずか No.4 川崎町

天狗の早足

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。

お送りください

お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。お送りください。



「尾名川の子」に対するお母さんからの感想

尾名川にわかれ
 足利へ来て十年過ぎた今も、政郷と懐かし
 く思う。余り、孫不孝氏と、了。自覚は、
 より足利年氏、冬野人として、拒絶を、
 あつたように思われ、それ、
 課程で、ケレ、ゴッ、は、
 中、子供と、共に、
 きて、
 尾名川にわかれ
 了、身並に、
 民族、血と、
 そ、
 う、
 頃、

7. 今後の課題

本年度は、研究テーマを受けて、サブテーマに「地域に目を向けさせる活動を中心にして」を掲げ、教材の開発だけにとらわれないで、地域のあらゆることを知る活動を推し進めてきた。その結果、児童は、少しずつ自分の家の回りに関心を示してきた。しかし、「地域に根ざす教育」は、スタートしたばかりである。今後は、知り得たことをどう教材化して生かすかなどが課題として考えられる。

評

一人ひとりの児童生徒は、学校と家庭・地域との相互補完の関係の中で総合的に育くまなければならないものであります。

したがって、学校教育活動を総体としてとらえながら、教育計画を策定し、家庭、地域社会との連携を密にし、地域のもつ教育力を高めつつ、学校教育目標の具現に努めることが大切であります。

この観点からの、毛野小学校大久保分校での「地域とのつながりを重視した学習指導」の研究と実践は、まさに当を得たものであるとともに、学校は地域社会を離れては存在し得ないことの、具体的な確認の上からも多くの示唆を与えるものであります。

特に、地域の理解、地域素材の教材化など、5つの視点を定めての実践は、主体的な学習の促進、直接経験による理解、愛郷心の高揚など、多くの指導効果が期待できるものであります。今後、さらに地域素材の教材化を手がけるなど、地域の実態に即した教育課程の編成と実践を推進されることを祈念します。